

平成20年度 コミュニティパーク事業対象箇所の審査内容

- 応募状況 ひかりが丘自治会から1地区のみの応募があった。
ひかりが丘には、第1児童公園、第2児童公園、ふれあい公園の3つの公園があるが、特に第1児童公園を主にした応募である。しかし、「地域全体のまちづくり」という点では、すべての公園について考えたいという応募内容であった。
- 条件審査 公募の条件で対象公園を街区公園と限定していたため、近隣公園であるひかりが丘ふれあい公園は、審査の対象外となるが、今回の応募については、「地域全体のまちづくり」という観点から、公園の在り方を検討する内容となっているため3つの公園を対象とする。
- 審査内容 1地区のみの申請であるため、ひかりが丘地区の公園が本事業に妥当かどうかを審査する。

【緑の市民委員会審査】

(審査に関する意見)

- ・今日までの自治会の取り組みが前向きな地区である。
 - ・第1公園の樹木・低木の成長が交差点の見通し上問題あるように思われる。
 - ・(ひかりが丘全体のまちづくりの視点から)公園を重要な場所として考えられている点がとても高く評価できる。
 - ・街区公園と近隣公園は位置づけが異なる。街区公園は地域と密接した関係にあるが、近隣公園のグラウンドは、近隣住区のためのもので、その整備や利用を考えるのであれば、自治会だけでなく、もっと広い範囲の住民でのワークショップをすべきです。これらを整理した上でワークショップを実施されたい。
 - ・委員会としては、ひかりが丘地区平成20年度本事業として適切と判断する。
- (今後の整備に関する意見)
- ・緑の大切さを考慮した上で樹木の整理についてワークショップで検討して頂きたい。
 - ・国道163号線の整備計画による位置関係も念頭に公園整備も考えた方が良い。
 - ・地域防災としての公園の位置づけも、公園ワークショップに取り入れられたらと思う。

【生駒市審査】

①地域連携について

- ・自治会だけでなく、ふれあいクラブ、子ども会、ガーデニング部も参加されるため地域の連携は高い。
- ・応募に際し、自治会役員だけでなく、子ども会の事前アンケートや公園周辺住民などとの現状の話し合いなど、事前に地域の合意形成を図られている点は地域の連携は高いと思われる。

②公園の課題解決について

- ・公園利用に関しては「同じタイプの公園」、「少子高齢化などにより利用者ニーズにみあったもの公園にしたい」、「公園内の犬の問題」、「樹木の成長による見通しなどの安全性」などの確な問題点をもち、これらの問題点を本事業通じて解消したいという意図が伺われる。

③公園の育成について

- ・応募内容だけでなく、今日までの自治会の日常的な管理活動から、「地域の公園は地域の住民が管理する」という意図が伺える。
- ・公園を地域のコミュニティをつなぐための重要な場所としてとらえている点、住民が積極的に公園の管理に関わっていただける体制をつくりたいという点、昨年度に発足したガーデニング部も花づくりで参加する点など積極的な育成への意図が伺える。

④現地調査

- ・第1、第2公園において外周の低木が茂りすぎ、見通しが悪い。
- ・外周に老朽化しているフェンスがある
- ・第1、第2公園において、樹木が生長しすぎ、数も多く、鬱蒼としている。
- ・段差や階段が多くバリアフリーになっていない。
- ・遊具等が一部老朽化し、また、安全を確保するための離隔距離にも問題あり。
- ・いずれ大規模な修繕等も必要と考えられる。

⑤その他

- ・昨年10月にも「ひかりが丘自治会」から公園施設、樹木等に関する要望書が出されており、それらの要望内容についても本事業のワークショップを通じて検討する。また、要望書でも自治会でできることは自治会で行う旨の内容となっている。

【緑の市民委員会と生駒市による審査結果】

平成20年度のコミュニティパーク事業としひかりが丘自治会の第1児童公園、第2児童公園、ふれあい公園とする。しかし、ふれあい公園については、遊具のスペースのみを対象として実施する。